

委員会	国体委員会	担当者氏名	内田信一
<p>●〔現状〕各種別において参加チームが全国ベスト8目標に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今段階は厳しい現状、各種別に1回戦必勝を目標に強化すべきである。 ・ 各種別の強化基盤は、U12以下の人材発掘・強化を継続する。全国レベルの選手の育成を続ける。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 少年選抜国体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川・新潟の選抜は他県からの選手の流入によったチーム編成となっている。まずはこの2県のどちらかを破らない限り目標は達成できない。 2. 女子はパルセイロが中心、県外に出て行った選手の受け皿は、今のところある。 3. 成年は即戦力JFL・HSLへ県外出身選手の増加による国体への参加が増加している。また県内出身者の強化も重要な課題である。 			
<p>〔目標〕</p> <p>5～10年後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種別において参加チームが全国ベスト8目標 <p>20年後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種別において参加チームが全国ベスト3目標 <p>20年以降50年後</p>			
<p>〔目標達成のための具体的な取り組み〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 少年選抜国体 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川・長野2県はほぼ単独的になっていることから、U16長野選抜は4～7月に集中した練習・ゲームによるチーム完成度を上げることが必要。ただし取り巻く環境の改善（週2回くらいの練習をするための専任スタッフ（自分の高校を掛け持たないでできること）、施設問題、代表へ送るチームの協力など課題が大きい。 ・ 違う考え方として、単独校＋補強選手方式による参加もありえる。（ただし課題として技術委員会によるU-15の強化方針とは別の方向性となってしまう。） 2. 女子 <ul style="list-style-type: none"> ・ U12の育成とその後の強化が課題。 ・ パルセイロ＋県内有望選手のピックアップによる強化。 3. 成年男子 <ul style="list-style-type: none"> ・ 強化期間が短期間であるため、JFLやHSLの選手を融合した効果的な練習・合宿が課題。 ・ リーグの過密化から、選抜スタイルを単独＋補強型へ変更も視野に入れる。 			